



横山市長と晴希くん「???なにが起きたの!?!」

先人の偉業を伝え続け・・・

～白瀬南極探検隊記念館・入館者 70 万人達成～

8月5日、白瀬南極探検隊記念館で入館者 70 万人達成の記念セレモニーが行われました。

記念館は、南極探検家“白瀬轟”の偉業を讃えるため平成 2 年に開館し 26 年目をむかえました。記念すべき 70 万人目の入館者は、由利本荘市西目町から訪れた加川晴希くん（3 才）でした。晴希くんはこの日、にかほ市で暮らす祖母と一緒に南極公園を訪れ、記念館に立ち寄った際のサプライズとなりました。

晴希くんは、横山市長と一緒にくす玉を割ったあと、記念のペンギンのぬいぐるみがプレゼントされました。



息のあったステージパフォーマンス

降り出した雨をものともせず

～夢の祭典 in 潮風（平沢地区地域振興協議会主催）～

8月15日、潮風公園を会場に「夢の祭典 in 潮風」が開催されました。これは、一時途絶えた夏祭りを復活させようと、地元有志が立ち上がり復活したイベントで、今年で第 4 回目となりました。

多彩なステージイベントや盆踊りなどが行われる中、とつぜん来場者の一部が踊り出す「フラッシュモブ」がサプライズで実施され、降り出した雨を吹き飛ばすかのような盛り上がりを見せました。そしてケースケ&マサのライブの後、スターメインなどの花火が次々と上がり、フィナーレを飾りました。

環境学習の場として見学者受け入れ開始

～にかほ市環境プラザ見学会～

8月1日から本稼働したにかほ市環境プラザで、初めての見学会が前川自治会の方々を対象に8月5日開催されました。職員や施設紹介ビデオによる概要説明やリサイクルに向けてのごみ処理の流れなどを学んだほか、施設内見学や質疑応答などが行われました。

にかほ市環境プラザでは、環境学習の拠点として今後も見学会・学習会を行い、「見て・聞いて・触れて・楽しみ」ながら 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を学習する機会を提供し、環境負荷の低減などについての啓発活動を進めてまいります。



施設の概要説明（窓からプラットホームの様子も（上段））

地域活性化は金浦湾から

～2016 湾頭まつり in 金浦～

8月15日、湾頭公園で金浦地区地域振興協議会主催の「2016 湾頭まつり in 金浦」が開催されました。

この日は朝から天候が心配されましたが、開始時刻には日本海に落ちる夕日が会場を赤く照らしました。金浦神楽の演奏から始まり、地元出身のケースケ&マサがオリジナル曲などを熱唱、ジュニアフラダンスやにかほブリーズなども会場を大いに盛り上げました。

しかし、後半は天候がぐずれテントで身を寄せて雨をしのぐ皆さんの姿が見られましたが、フィナーレを飾る花火が雨の中に見事な大輪の華を咲かせていました。



ケースケ&マサの歌声に浴衣美女が華を添える



海の生き物にも興味津々!!（上段）

海と水に関する体験型イベント!

～GAOおでかけ水族館&カヌー体験教室～

8月7日、海の幸まつり実行委員会主催の子ども体験型イベントが南極公園竹嶋潟を会場に開催されました。実際に海の生き物に触れることができる男鹿水族館GAOの「おでかけ水族館」と秋田県カヌー協会の協力によるカヌー体験教室を同時に開催し、幼児から中学生までの子どもたちが海や水に関する体験型イベントを楽しみました。カヌー体験教室では、最初は真っ直ぐ進むことが出来なかった子どもも短時間で上達し、これまで経験したことのない視線と水面を滑るような感覚を楽しみました。



ジャングルキッズと盆踊りもイベントの盛り上げに一役!

日本海を舞台に夜空を彩る

～第 68 回日本海花火フェスティバル in にかほ～

8月16日、市観光協会主催による「第 68 回日本海花火フェスティバル in にかほ」が象潟海水浴場を会場に開催されました。5 千発の花火打ち上げに先立ち、ジャングルキッズや市民有志による盆踊りが行われ地元中学生や帰省客などを楽しませました。観光拠点センター「にかほっと」のオープンや「めざせ! ジオパーク」など今年の本市の代表的な出来事を冠した花火も打ち上がりました。グランドフィナーレでは恒例の約 350 m のナイアガラに続き、スターメインが途切れることなく打ち上がり、観客から大きな拍手があがっていました。